

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察防除情報第20号

たまねぎ 白色疫病、べと病の防除対策について

たまねぎの白色疫病、べと病がやや多い傾向です。下記に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

(1) 白色疫病

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.0%(平年0.2%)、発生圃場率は20.0%(平年6.7%)であった。

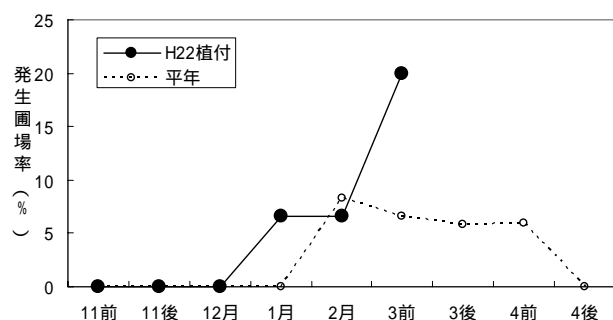


図1 タマネギ白色疫病発生圃場率の推移(巡回調査)
平年:平成12年~平成21年の平均値(最大・最小除く)

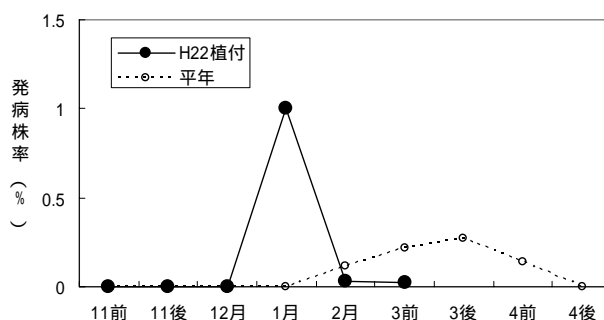


図2 タマネギ白色疫病発病株率の推移(巡回調査)
平年:平成12年~平成21年の平均値(最大・最小除く)

(2) ベと病

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.1%(平年0.1%)、発生圃場率は6.7%(平年2.5%)であった。また依頼診断でも越年罹病株(図5、6)の発生を確認している(3月上旬:1件)。

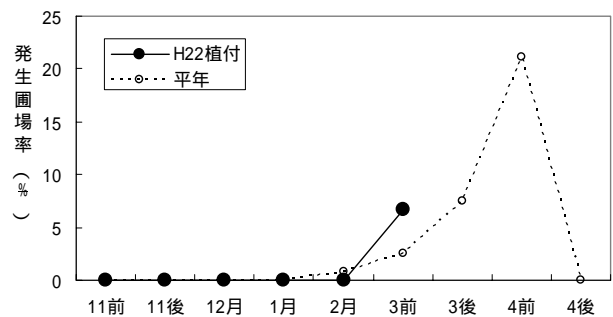


図3 タマネギべと病発生圃場率の推移(巡回調査)
平年:平成12年~平成21年の平均値(最大・最小除く)

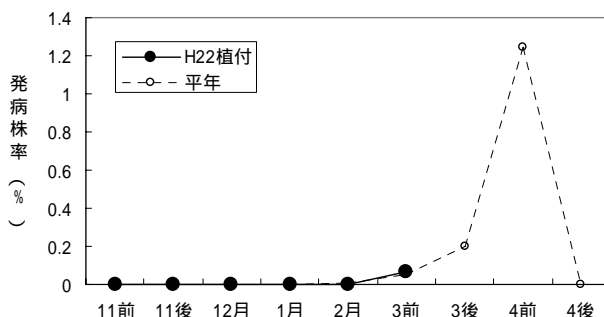


図4 タマネギべと病発病株率の推移(巡回調査)
平年:平成12年~平成21年の平均値(最大・最小除く)



図5 タマネギベト病の越冬罹病株



図6 ベト病の発病状況（表面にかびを生じる）

2. 防除対策

(1) 白色疫病

- ア 排水につとめ、過湿を避ける。
- イ 十分圃場観察を行い早期発見に努め、発生を認めたら速やかに薬剤防除を行う。
- ウ 罹病した葉、枯死した葉は伝染源となるので、適切に処分する。

(2) ベト病

- ア 越冬罹病株は伝染源として最も重要なので、発見に努め、徹底して抜き取る。
- イ 肥料切れしないように肥培管理を適切にする。
- ウ 十分圃場観察を行い早期発見に努め、発生を認めたら速やかに薬剤防除を行う。薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- エ 罹病した葉、枯死した葉は伝染源となるので、適切に処分する。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027